

9月 執行理事会議 会議録

◇開催日：平成24年9月08日(土)午前9時30分～正午

◇会場：日臨技 第1会議室A

◇出席者：宮島喜文 松本祐之 下田勝二 山本慶和 坂西 清 津田聡一郎 上原昭浩

◇欠席者：萩原三千男 丸茂美幸

司会 松本祐之副会長

1. 開会

宮島会長挨拶

事務局の体制を整えた。担当を明確にしたので担当理事との間で運用していただきたい。

法改正の方への取り組みについて、いくつかの問題の対応が迫られているので早急に取り組んでいただきたい。

それぞれの委員会で協議し、適切に対応してほしい。

2. 執行理事会議 会議録の確認

訂正あれば、来週中に上原まで報告することとした。

3. 経過報告

1) 理事行動記録 (諸会議・派遣報告)

資料 1 P1-31

諸会議・委員会報告	日程		報告者	報告日	ページ
認定心電検査技師制度 試験 WG 会議	0627	木	富原	0813	1
認定一般検査技師制度 審議会	0714	土	山下	0716	2-3
認定一般検査技師制度 試験 WG 会議	0714・15	土日	堀田	0801	4
認定臨床染色体遺伝子検査師制度 試験 WG 会議	0715	日	南木	0815	5
精度管理調査委員会 微生物 WG 会議	0728	土	結城	0811	6
チーム医療及びグレーゾーンに関する情報収集打合せ	0731	火	萩原	0802	7-8
HP 更新に関する打ち合わせ会	0731	火	土居	0831	9
報酬等審議委員会 (第1回)	0810	金	上原	0815	10
総務・渉外委員会 (第2回)	0810	金	上原	0901	11
学術委員会 (第2回)	0810	金	坂西	0821	12-13
広報委員会	0811	土	坂西	0904	14
チーム医療推進検討委員会	0811	土	萩原	0817	15-16
認定一般検査技師制度 試験 WG 会議	0811-12	土	堀田	0906	17
精度管理調査委員会 輸血 WG 会議	0901	土	奥田	0904	18
派遣報告	日程		報告者	報告日	ページ
日臨技 全国研修会 輸血医療における安全管理体制 会場打ち合わせ	0705	木	津田	0903	19
日臨技 全国研修会 感染症における安全管理体制 会場打ち合わせ	0806	月	津田	0903	20
JICA 臨床検査技術コースの検討会	0807	火			
耳鼻咽喉科学会役員面談	0807	水	宮島	0808	21
日本栄養療法推進協議会理事会	0810	金	小沼	0810	22
第30回 IFBLS World Congress ドイツ ベルリン	0818-22	水	上原	0901	23
日本栄養士会 第一回定時総会 公益社団化祝賀会	0820	月	萩原	—	—

日本臨床検査学教育施設協議会 平成 24 年度学術大会式典	0822	水	松本	0906	24
日耳鼻聴・平衡・言語委員会	0828	火			
臨床検査振興協議会 第 1 回広報委員会	0829	水	津田	0903	25-26
臨床検査振興協議会 第 2 回正副会長会議	0830	木	宮島	0903	27
臨床検査振興協議会 第 2 回定例理事会	0830	木	津田	0903	28-29
日本臨床検査標準協議会 平成 24 年度第 1 回常任理事会	0901	土	篠原	0904	30
厚生労働省医政局医事課	0904	火	萩原	0904	31
日本臨床化学会 酵素試薬委員会・ALP プロジェクト打ち合わせ会	0906	木	山本	0907	31-②
日本耳鼻咽喉科学会理事長あいさつ	0907	金			
看護師の特定能力の認証に関する医行為分類と教育内容等に関する説明会	0907	金			
千葉県技師会「第 21 回千葉県地区技師長会・研修会」	0914	金			

2) 報告事項

【総務・渉外委員会】

資料 2 P32-33

01. 行政への対応を以下のとおり行った。

- 1) 0803 厚生労働省医薬食品局 医療機器の不具合等報告の症例の公表及び活用についてホームページへの広報、会員への周知を行った。
- 2) 0829 厚生労働省医薬食品局 医療事故情報収集等平成 23 年年報の公表についてホームページへの広報、会員への周知を行った。

資料 3 P34

02. 0801 愛知県臨床検査標準化ガイドラインに対するパブリックコメントの依頼をメールで役員へ配信した。

資料 4 35-38

03. 0828 結核予防会から「結核研究奨励賞候補者推薦頼」の依頼をうけ、会誌「医学検査」、ホームページで公募をすることとした。

資料 5 P39-40

04. 会長の報酬を報酬等検討委員会の決定に基づき常勤となった 7 月に遡り支給することとした。

報酬等検討委員会から、あらゆる状況を想定した給与体系の検討が必要であると依頼があり、報酬等検討委員会の申請内容の開催回数 3 回に修正し提案することとした。

→ 承認。次回の理事会で委員会設置要項の修正を求めることとした。

(質 上原)

会長報酬については、理事会への報告事項として扱うか？あるいは審議事項とするか？

→ 給与については報告事項とし、住居費の加算に関しては理事会の審議事項とすることとした。

(※報酬に関する答申書は理事会および総会で承認を得ている。理事会では答申書の内容に沿って運用するかことの可否について論議。)

05. 平成 24 年度 8 月度会員数実績は資料のとおりである。

→ 若干ではあるが、増加傾向である旨の説明があった。

資料 6 P41-42

06. 8 月度無料職業紹介事業実績は資料のとおりである。

資料 7 P43-48

07. 東日本大震災・九州北部豪雨支援に関して以下の申請を承認した。

《東日本大震災》

福島県技師会 見舞金申請 1名
宮城県技師会 見舞金申請 1名
千葉県技師会 見舞金申請 1名

《九州北部豪雨》

福岡県技師会 会費減免申請 1名
大分県技師会 被害会員届出 1名

08. 日臨技のキャッチフレーズを次のとおりとした。今後ホームページ等で使用していくこととした。

【 臨床検査は健康へのナビゲーター 】

サブ 【 私たちは良質な検査を 365 日、24 時間提供しています 】

08. 公益事業 配布品クリアファイルをピンクリボン、レッドリボン 2 種 20,000 部にキャッチフレーズを入れ作製した。 都道府県技師会に各 400 部を配付。9 月 18 日発送予定。

資料 8 P49-63

09. 日臨技公益事業「STI・HIV 予防教育」企画申請 5 件、「がん予防教育」企画申請 10 件を承認した。

申請月	技師会名	STI・HIV 予防教育			
		実施日	報告日	実施形態	報告者
	北海道	0414	0507	「HIV・STI 予防啓発講演会」	東
8	広島県	0603		HIV 臨時検査及び受検啓発キャンペーンを実施	
8	香川県	1020		HIV・STI 予防啓発活動	
8	富山県	0917		青少年への STI 予防啓発教育事業	
9	和歌山県	1201		HIV 予防啓発事業	
9	山梨県	1001-12 31		HIV・STI 予防啓発事業	
9	新潟県	1118		STI・エイズ予防啓発事業	
9	高知県	1123		エイズ撲滅 STI 予防の啓発活動	
9	岡山県	1012		青少年への STI 予防啓発教育事業	

申請月	技師会名	がん予防教育			
		実施日	報告日	実施形態	報告者
8	北海道	0902		がん予防啓発キャンペーン	
8	福島県	0909		乳がんピンクリボンキャンペーン	
8	奈良県	0909		ミニ臨床検査展およびガン撲滅運動	
8	鹿児島県	0915		がん予防啓発キャンペーン	
8	山口県	0929		がん予防啓発 PR	
8	岡山県	1007		乳がん・子宮頸がん予防啓発キャンペーン	
8	大分県	0915		リレー・フォー・ライフ大分 2012 への参加	
8	埼玉県	0929		大腸がん予防に関する啓発事業	
8	山梨県	1028		乳がん予防啓発事業	
8	新潟県	1008		乳がん予防啓発事業	
8	大阪府	1013		第 3 回がん検診推進フォーラム子宮頸がん検診	
8	京都府	0913		子宮がん検診の重要性についての講演会	
8	高知県	1006		リレー・フォー・ライフ in 高知 2012 への参加	
8	東京都	1028		がん征圧、乳がん撲滅に関する啓発事業	
8	愛媛県	1013		リレー・フォー・ライフ 2012in えひめへの参加	
8	秋田県	1007		ピンクリボン キャンペーン	
8	徳島県	0929		リレー・フォー・ライフ徳島 in 新町川水際公園	

8	富山県	1021		ピンクリボン街頭キャンペーン	
8	茨城県	1028		がん予防啓発活動	
8	兵庫県	1021		乳がん予防啓発キャンペーン	
8	福岡県	1028		肺がんの最新治療	
8	宮崎県	1020		がん予防啓発活動	
9	群馬県	0917 1123		がん予防啓発に関する事業 乳がんモデルによる触診講習	
9	和歌山県	1007 1013		ピンクリボン紀南 2012・熊野本宮大社ライトアップ 乳がん啓発コンサート・紀三井寺ライトアップ	
9	熊本県	1013		乳がん検診・子宮ガン検診啓発活動	
9	広島県	0929		がん予防啓発に関する事業活動	
9	神奈川県	0915		リレーライフ in 横浜 2012 へ参加	
9	栃木県	1117		がん予防啓発事業	
9	岐阜県	1014 1104		がん予防啓発事業	
9	愛知県	0908 1013-14		乳がん予防および健診受診の啓発	
9	長崎県	1013		乳がん予防啓発事業	
9	青森県	1021		乳がん予防啓発事業	

10. 日臨技総合監理検査技師制度 認定管理検査技師コースの受講スケジュールを以下のとおり変更した。
また、49名の受講申請を承認し、8月20日(月)に受講申請承認通知を発送した。受講開始日の変更も併せて通知した。

当初、本年10月から開催 ⇒ 12月の第3週末 [12/15(土)、12/16(日)] に変更
以降、来年4月(2回目)、8月(3回目)の開催を予定
現在、講師の選定と依頼中

資料9 P64

11. 認定検査技師試験の回答方法をマークシート化とし、集計と解析を迅速に行えるようにした。

・認定検査技師の試験(一般、心電)

目的:採点の迅速化、精度向上。解答の集計、解析(正答率の算出等)を自動化

効果:試験の立ち合い人員、解析人員と所要日数を削減

予算:63万円(見積書添付)、認定センターの予算内で賄う

(質 山本執行理事)

今回の予算は1回のみか?

(事) 機能追加によって費用追加の可能性はあるが、軽微な場合は無料のこともある。
できるだけ今回の機能を継続して運用していくことを確認した。

資料10 P65-66

12. 認定更新指定研修会として、次の申請があったので承認した。

1) 認定一般検査技師

平成24年度佐賀県一般検査研修会 1123(金)

資料11 P67-72

13. 糖尿病療養指導士第1群 単位申請研修会を承認した。

1) 第10回神奈川県糖尿病療養指導士研究会セミナー 1014(日) 1単位

2) 第26回望星台糖尿病セミナー 1016(火) 0.5単位

3) 第5回首都圏糖尿病療養指導研究会 1020(土) 1単位

以上、総務・渉外関係の報告については、異議なく、承認とした。

【学術委員会】

資料12 P73

14. 第62回日本医学検査学会「日臨技企画」の時間を確保した。

内容は、学会組織委員会で現在当会が進めている業務拡大の中から検討する。

開催は、日曜日の最後。企画の内容についてはこれから検討。

資料 13 P74

15. 日臨技臨床検査精度管理調査のシステムを使用した都道府県技師会精度管理調査について
大阪府技師会からの使用申請を承認した。 使用承認済 合計 30 都府県
16. 平成 24 年度日臨技臨床検査精度管理調査施設別報告書について
血液検査「プロトロンビン時間」の評価等が記載されていないと言う不具合があった。
原因 : 回答期間中に生じたサーバーの不具合の影響で、自動計算が正常に作動しなかった
対象施設 : 52 施設
対応 : 9 月 5 日 (水) に次の対応を行った。
1) 自動計算を再実行し、該当施設の施設別報告書は評価を追加したものと差し替えた。
既に評価されている施設の評価結果は変更なし。
2) 基本統計の集計結果が異なるので、対象施設の SDI 評価の結果 (P/C 比・INR) を
修正し、施設別報告書を差し替えた。
3) 各参加施設に、この処理をメールで通知した。

(追加 山本執行理事)

サーバー異常修正中に起こった。データの集計については H&T 社に任せしており、結果については注意が必要。

(追加 下田常務理事)

毎年なんらかの不具合が発生している。なんとかならないのか？

(松本副会長)

本日の学術委員会で対応について協議する

(追加 宮島会長)

外に出る文書については、特に慎重に対応してほしい。

資料 14 P75

17. 9 月 1 日までに推進事業研修会申請のあった 74 件の研修会を承認した。
(追加 津田執行理事)
一覧表では 20 以上の研修会を申請している県もあるが、助成金の対象上限は 20 であり、20 以上の申請が出ている県に対しては、上限 20 であることを伝達済み。

資料 15 P76

18. 9 月 4 日までに支部研修会申請のあった 6 件の研修会を承認した。
(追加 津田理事)
2 日間連続で行われる研修会(行事名は異なるが講師はほぼ同じ)があるが、対応はどうしたらよいか？
・同じ部門で二つ申請するのはいかがなものか？
・同部門で 2 日間連続で行われる研修会を別の研修会として認めた場合、同様の申請が増えるのでは？
・同じ部門で複数申請するのは不公平では？
→ 基本は生涯教育の点数の取得単位を原則とし、申請支部に統一の再検討を促すこととした。(担当 津田理事)

資料 16 P77-78

19. 研修会・講習会報告 ◆は理事会報告済み

【平成 24 年度研修会】

部門	テーマ	派遣 報告者	募集 人数	参加 人数	報告書 提出日
全国 研 修 会	◆形態検査関する研修会◆ 0512(土) 函館国際ホテル<北海道>	百田	200	87	5/22
	◆輸血医療における安全管理研修会◆ 0729(日) ラフレさいたま<埼玉県>	津田	400	320	9/03
	◆感染症における安全管理体制研修会◆ 0901(日) 静岡銀ホール<静岡県>	津田	300	76	9/03
	◇医療安全管理者研修会◇ 1110(日) T K P ガーデンシティ博多<福岡県>		200		

	◇臨地実習指導者教育研修会◇ 1201(土)・02(日)広島市まちづくり市民交流プラザ〈広島県〉		80		
	◇臨床検査部門管理者研修会◇ 0202(土) 和歌山ビックアイ〈和歌山〉		200		
伝達講習会 輸血	<北日本支部> 1117(土)-18(日) 福島県立医科大学		60		
	<関甲信支部> 1013(土)-14(日) 上尾中央総合病院		60		
	<首都圏支部>				
	<中部圏支部> 0908(土)-09(日) 名古屋市立大学病院		60		
	<関西支部> 1013(土)-14(日) 大阪市立大学医学区部		60		
	<中四国支部> 0908(土)-09(日) 香川大学医学部		60		
	<九州支部> 11/10(土)-11(日) 鹿児島大学医学部		60		
伝達講習会 微生物	<北日本支部>				
	<関甲信支部>				
	<首都圏支部>				
	<中部圏支部>				
	<関西支部>				
	<中四国支部>				
	<九州支部>				

(追加 宮島会長)

支部研修会については、支部長を中心に運営できるように誘導し、執行理事は本会の企画立案を中心に活動してほしい。

3) 会計報告

01. 8月1日～8月31日迄の主たる収支は以下のとおりである。

<支出>	項 目	【一般会計】	額(円)
1	平成24年度操出金支出		
	共済制度特別会計操出金		1,300,000
	運営基盤強化特別会計繰出金平成23年度収支差額		802,058
	学会特別会計繰出金第63回学会(新潟県分)		10,000,000
2	公益委託事業(sti 予防啓発) 啓発活動助成金 1 技師会×20 万円		200,000
3	公益委託事業(がん予防啓発) 啓発活動助成金 15 技師会×20 万円		3,000,000
4	IFBLS 学会(ドイツ) 8/17-23 航空券代 日本旅行(株)		980,840
5	IFBLS 学会(ドイツ) 渡航保険料 6 名分		62,930
6	IFBLS 学会(ドイツ) JAMT 表彰 副賞 2 名		199,707
7	日臨技指定輸血研修会 DVD 作成費 (株)MEG 毎日映画社		361,410
8	日臨技指定輸血研修会 助成金 5 支部×15 万		750,000
9	データ標準化事業平成24年度標準物質 福岡県技師会		5,519,325
10	精度保証セミナー助成金 6 技師会×10 万円		600,000
11	全員加入保険料 8/1 対象者分 (株)メイプランニングオフィス		1,217,350
12	ホームページ更新費用(7月) (株)メイプランニングオフィス		80,601
13	お祝金 8/20 公益財団法人 日本栄養士会 公益化祝賀会		10,000
14	平成24年度全国輸血研修会会場使用料 ラフレさいたま		778,302
15	修了証書 表彰状型 2,200 部 (株)丸井工文社		120,120
16	輸血研修会テキスト 450 部/1,000 部 (株)丸井工文社		341,355
	合 計		26,323,998

<支 出>		項 目	【出版特別会計】	額(円)
1	共済制度会計繰入金	7月分の精算(チャリティ図書)		12,000
合 計				12,000

<収 入>		項 目	【共済制度特別会計】	額(円)
1	一般会計繰入金			1,300,000
2	出版特別会計繰入金	5. 6月分の精算(チャリティ図書)		12,000
合 計				1,312,000

※精度管理の試料不良に関わる費用

<収 入>		項 目	【精度管理事業特別会計】	額(円)
1	仮受金として受領	(株)イムコア社から試薬送料負担分受領		6,577,200
合 計				6,577,200

<支 出>		項 目	【精度管理事業特別会計】	額(円)
1	仮受金精算として	日水製薬(株)へ送料		6,577,200
合 計				6,577,200

<収 入>		項 目	【運営基盤強化特別会計】	額(円)
1	一般会計繰入金	平成 23 年度収支差額		802,058
合 計				802,058

<収 入>		項 目	【第 63 回学会特別会計】	額(円)
1	一般会計繰入金			10,000,000
合 計				10,000,000

<支 出>		項 目	【第 63 回学会特別会計】	額(円)
1	仮払金として	委託金支出	第 63 回学会	10,000,000
合 計				10,000,000

4) 支部報告

◆ 経過報告<7・8月>

資料 17 P79-89

支部	報告日	内 容	ページ
北日本支部	0903	会議	79
関甲信支部	0903	なし	80
首都圏支部	0906	なし	81・82
中部圏支部	0904	研修会準備	83
関 西支部	0831	会議	84-85
中四国支部	0905	支部幹事会(8月執行理事会にて報告済み)	86
九 州支部	0905	研修会	87-89

5) その他

今後の法改正運動について

宮島会長

厚労省と法改正に関するいくつかの課題について、連盟と連動して取り組みを始めた。

- ・ 血圧測定に関しては、疑義照会を準備中。
- ・ 耳鼻科関連の検査については、実施の方向で耳鼻科学会と調整中。運用確認後、日臨技・耳鼻科学会双方から厚労省に許可申請を行う予定。
- ・ 検体採取については、厚労省の局長通知を提案したが、厚労省からは法令改正を指導される。眼圧測定など生理機能検査関連の検査と併せて法令申請に取り組んでいく。

・併せて検査全体の点数に関する取り組みも行っていく。

4. 議題

【総務・渉外委員会】

資料18 P90

01. 0828 厚生労働省医政局看護課 看護師の特定能力の認証に関する医行為分類と教育内容等基準に関する意見の募集があったので当会として意見をまとめ提出することを承認した。

(会長)

チーム医療推進のために看護業務拡大に関するワーキンググループがあり、検体検査の指示、超音波検査の実施や実施の指示など臨床検査技師の範疇に入るものが、看護師が行う医行為として項目の中に含まれている。これに対し、会員からの意見をまとめ日臨技としての回答を提出する。方向で考えている。

看護協会の提案に対し全て反対という立場ではなく、これを機にCランクに位置づけられている医行為などについては、共同歩調を模索することが必要。

「渉法問題対策委員会」を設置し、今回の医行為分類に準じた資料作成の検討を行いたい。

「渉法問題対策委員会」の設置申請については、次回理事会提案とした。

資料19 P91

02. 0829 日本臨床検査標準協議会・臨床検査基準値検討委員会委員推薦依頼を受け、山本慶和執行理事・細萱茂実氏を推薦することを承認した。

(追加 宮島会長)

自分たちだけで活動するのではなく、国から基準値の提出を求められるような運動もしてほしい。

資料20 P92

03. 0731 臨床検査振興協議会より各委員の選出依頼を受け、次の委員を承認した。

WG-A：検体検査の臨床的価値とコスト：椎津 稔(現 診療報酬対策委員会)

WG-B：検体検査の診療報酬の仕組み：林 亮(現 診療報酬対策委員会)

WG-C：検体検査の性能と診療報酬への反映：武井 勝昭(ビー・エム・エル総合研究所細菌検査部)

WG-D：コンパニオン診断薬の審査・承認体制の整備：齊藤 幸弘理事

広報委員会：津田聡一郎執行理事 小澤 優理事

資料21 P92-95

04. 0808 尿沈査検査法2010の著作権使用料の件について覚書を取り交わしたい。

※平成24年度 単価45円 23年度販売冊数(有償)5,695冊×45円=256,275円

(下田常務理事)

従来は28円。今回はページ数の変更もあり一律45円で提案があったが、定価価格で計算されており、会員価格で販売している実情と異なっている。JCCLSに販売価格での対応が可能かを確認し再提案したい。

また、契約内容については次回の報告事項とすることとした。

資料22 P96-100

05. 0820 日本医療安全調査機構「診療行為に関連した死亡の調査分析事業」に加入することを検討したい。

(1口10万円支払)

(宮島会長)

協力団体としては問題ないが、事業に参加することで日臨技にメリットはあるか？

加盟することで社員として扱われるが、日臨技にとって必要あるか？

(下田常務理事)

総務渉外委員会で検討としたい。

→ 総務・渉外委員会で検討することとした。

※協議会の設立背景・趣旨を確認し、理事会提案とした。

資料23 P101-116

06. 0904 日本臨床微生物学会 感染制御認定微生物検査技師 (ICMT) に関する協議会制度の設立及び参加加入について協議したい。

(松本副会長)

学会の単独認定ではなく協議会制度で行うという方向性が出てきている。

(宮島会長 下田常務理事)

従来の資格認定と2段階の位置づけになってしまう。今回の協会設立の経緯や目的を踏まえて議論が必要。

→ 宮島会長と日本臨床微生物学会 戸塚理事で協議し、再度審議することとした。

資料 24 P117

07. 0901 日本臨床検査医学会「日臨技-JSLM 合同未来構想ワーキンググループ(仮称)」の委員選出に対応したい。

(追加 宮島会長)

将来の学会のあり方について、各団体から委員長、副委員長を選出し、対等な立場で検討を行うことを予定している。

→ 当会からは、山本副会長(委員長)、坂西執行理事(副委員長)を選出することとした。

資料 25 P118-124

08. 関連団体からの後援依頼について対応したい。

01) 0817 NPO 法人がん医療研修機構第13回オンコロジーセミナー

02) 0823 NPO 法人がん患者支援機構 「第8回がん患者大集会」

03) 0827 日本ポリソムノグラファー研究会全国大会

04) 0904 医療のTQM推進協議会 第14回フォーラム「医療の改善活動」全国大会 IN 沖縄

(下田常務理事)

後援・共催については基準を作成して対応したい。

→ 上記後援依頼については全て承認とした。

→ 総務・渉外と事務局で規定を作成することとした。

資料 26 P125-127

09. 関連団体 役員派遣、講師依頼について対応したい。

1) 0816 1013(土) 認定微生物検査技師制度協議会 指定講習会・開校式

2) 0906 1118(日) 第88回新潟県臨床検査学会講師依頼

10月13日は執行理事会議を予定。12時～15時を執行理事会とする。

→ 上記依頼については、会長を派遣することで承認した。

資料 27 P128

10. IFBLS 学会準備委員会を設置したい。

学会開催地の決定を目的する。

→ 承認し理事会提案とした。

資料 28 P129

11. 出版物の増刷について

「呼吸機能検査の実際」の在庫が無くなったため、500部増刷することを承認した。

資料 29 P130-132

12. 会誌「医学検査」会報 JAMT の印刷業者の指名入札を行い、業者を決定したい。

東広社、近代出版、丸井公文社、テンプリント、医学書院、医師薬出版

→ ※審議事項から報告事項へ 入札を行うための見積もり提出をお願いした。

→ 見積もり額は理事会へ提出し、理事会提案とした。

資料 30 P133

13. 味覚・嗅覚検査の要望について

臨床検査技師による耳鼻咽喉科領域の検査の取り扱いについて(要望)を厚労省に提出したい。

→ 内容を承認し、理事会提案とした。

14. 平成24年度中間監査 10月22日(月)に受けることを承認した。

事業監査 午後 1時～同 4時
 会計監査 午前 10時～午後 3時
 内部 中間監査。 上原、丸茂執行理事立ち会いとした。

資料 31 P 134-135

15. 平成 24 年 8 月新入会 210 名、再入会 86 名を承認した。

資料 32 P136-138

16. 以下の委員会の委員を追加の提案を承認した。

- 1) 東日本大震災・原発事故支援に関する検討委員会 総務
 遠田栄一氏（三井記念病院 中央検査部部長）
 ※ 超音波検査側の立場からの意見を求めたいため。
- 2) 診療報酬対策委員会委員 渉外
 武井勝昭氏（ビー・エム・エル総合研究所細菌検査部）
 ※ 臨床検査振興協議会 医療政策委員会・WG と情報を共有したいため。
- 3) 生涯教育・研修制度委員会 学術
 横地常広理事
 ※ 支部研修会の体系の作製、実務担当として追加したい。

17. 以下の諸会議を開催の提案を承認した。

- 1) 認定心電検査技師制度 試験 WG 会議（第 2 回）
 - ◇ 日 程：9 月 26 日（水）午後 7 時から同 9 時まで
 - ◇ 場 所：当会第 1A 会議室
 - ◇ 開催理由：平成 24 年度試験問題の作成 他
 - ◇ 概算予算：旅費交通費として（含行動費）：100,000 円
- 2) 精度管理調査委員会
 - ◇ 日 程：10 月 14 日（日）午後 1 時から同 4 時まで
 - ◇ 場 所：当会第 2 会議室
 - ◇ 開催理由：平成 24 年度報告書作成について、平成 25 年度実施内容の検討 他
 - ◇ 概算予算：旅費交通費として（含行動費）：450,000 円
- 3) 精度管理調査委員会 病理 WG 会議
 - ◇ 日 程：11 月 17 日（土）午後 1 時から同 5 時まで
 - ◇ 場 所：神奈川県技師会研修センター
 - ◇ 開催理由：平成 24 年度設問の検証、25 年度設問原案の検討 他
 - ◇ 概算予算：旅費交通費として（含行動費）：150,000 円
- 4) 未来構想策定に関する検討委員会
 - ◇ 日 程：：9 月 20 日（木）午後 2 時から同 3 時 30 分まで
 - ◇ 場 所：当会第 2 会議室
 - ◇ 開催理由：委員長互選、副委員長指名、今後の方向性、スケジュールについて他
 - ◇ 概算予算：旅費交通費として（含行動費）：350,000 円
 （追加）外部委員の都合により、木曜日開催。
- 5) 「臨床検査関連法令への取り組み」に関する説明会
 日程 9月20日 15：40～17：40
 場所 日臨技会議室
 執行理事中心に説明会

【学術委員会】

資料 33 P139-142

01. 「学術組織再構築に関する検討委員会」委員について

委員会設置申請書、推薦委員一覧、委員会名簿、委員会設置要項について確認。

（追加 宮島会長）

委員に執行理事からの参加は少なくとも良いのでは？

執行理事からは、松本副会長、坂西執行理事、丸茂執行理事の3名とした。
その他メンバーについては、学術委員会に一任とした。
→ 委員会設置について承認した。

5.その他

11月執行理事会議の開催日を11月10日 9:00～に変更したい。

9月21日 16時～ 執行理事会

9月22日 15時～ 震災… 委員会を開催することとした。

6. 連絡事項等

- 1.理事会議案書は理事会10日前までに作成。
- 2.執行理事の行動報告について、形式を作成しメールで提出。
自己の職務の執行状況。

7. 閉 会